

# カシータ 大阪開業へ

## 提携先の本土企業運営

沖縄市の有料老人ホーム「美里の杜 カシータ」を運営するトータルライフサポート研究所（沖縄市）の宮里啓社長と、関西・関東圏で富裕層向け有料老人ホームを運営するロンクライフホールディ



ング（大阪市）の北村政美副社長が13日、沖縄タイムス社を訪れ、年内にも、ロンクライフ社運営による「カシータ」の県外1号棟を大阪市内に開業する方針を明らかにした。

両社は3日付で資本業務提携を締結。ロンクライフは「カシータ」を県外で低価格帯ブランド施設として展開。沖縄

低価格の有料老人ホーム「カシータ」の県外展開を目指すロンクライフホールディングの北村政美副社長（右）と、トータルライフサポート研究所の宮里啓社長。13日、沖縄タイムス社

への移住や滞在を希望する入居利用者に県内の施設を紹介する。

トータルライフは来年4月、うるま市江洲に2棟目の介護付老人ホームを開業する予定。石垣市や名護市での展開も検討しており、5年以内に県内で合計5棟の運営体制を目指す。宮里社長は「新しい沖縄の移住や観光の形として、受け入れ態勢を整えたい。育てた人材のキャリアアップを構築するためにも、施設展開を加速させたい」と意気込みを語った。

ロンクライフはことし設立25年。介護専門企業として2002年に初めて株式上場した。従業員約2500人で、20ホームのほか、在宅介護事業所130カ所、ホームヘルパー養成専門学校を運営している。両社は人材育成でも協力する方針で、北村副社長は「お客さまが安心して移動できるようなネットワークを国内外に広げていきたい」と話した。